



UNESCO

INTANGIBLE CULTURAL HERITAGE

沖縄空手をユネスコ無形文化遺産へ



OKINAWA
KARATE

沖縄空手ユネスコ登録推進協議会

<https://okinawakarate-unesco.jp>

事務局 沖縄県文化観光スポーツ部空手振興課



沖縄空手をユネスコ無形文化遺産へ

沖縄で誕生した空手。

現在、世界198の国と地域に、

約1億3000万人もの空手愛好家がいるといわれ、

オリンピック種目に採用されるなど、

その精神は世界へ羽ばたいています。

沖縄が世界に誇る伝統文化を、

次世代に正しく伝え残すために

沖縄空手を、ユネスコ無形文化遺産へ。

MESSAGE

沖縄空手ユネスコ登録推進協議会 会長メッセージ

はいさい ぐすよー ちゅーうがなびら

みなさん、こんにちは

沖縄空手ユネスコ登録推進協議会会長、玉城デニーです。協議会を代表して御挨拶申し上げます。

沖縄が世界に誇る伝統文化である空手は、沖縄の独特な歴史・風土の中で育まれ今日まで大切に継承されてまいりました。

沖縄空手の特徴は、その神韻である型に秘められた奥深く洗練された技、そして、「空手に先手なし」、「人に打たれず、人を打たず、全て事なきを基とするなり」といった先人の言葉に表される礼節を重んじ平和を希求する精神性にあります。

沖縄では、地域に根ざした町道場に世代・性別の垣根なく様々な人々が集い、日々鍛錬に励んでいます。また、お祭やお祝いの席で演武が披露されたり、学校の授業に取り入れられるなど、空手は地域社会における人々の絆や連帯を強める役割を果たしています。

沖縄県では、沖縄空手の伝統文化としての価値を次世代に伝えていくとともに、「空手発祥の地・沖縄」を国内外に広く発信するため、沖縄伝統空手道振興会等の空手関係団体をはじめ、県議会や市町村、教育、文化・学術、経済・観光、メディアなど、県内の幅広い分野の関係機関・団体と連携し一丸となって、沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録を目指しています。

ユネスコ無形文化遺産への登録は、沖縄空手の将来にわたる保存・継承と普及・啓発に寄与するのみならず、空手を通じた交流の拡大により、地域社会の発展や世界の平和文化創造に貢献するものであると考えています。

沖縄発祥の空手は、世界へと広がり、現在、世界で1億3千万人の愛好家がいるといわれ、オリンピック種目にも採用されています。

沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録という大きな目標を実現させるためには、沖縄県民の皆様はもとより、日本全国、さらには世界の空手を愛する多くの皆様と心を一つにして、気運を盛り上げていくことが何よりも大切です。

登録の実現に向けて、私達とともに取り組んでまいりましょう。

ゆたさるぐどう うにげーさびら

よろしくお願ひいたします。

沖縄空手ユネスコ登録推進協議会会長

沖縄県知事 玉城デニー



沖縄空手

～沖縄で培われた伝統的な技法を残す武術～

沖縄を発祥の地とする空手は、護身や心身の鍛錬を目的とする伝統的な武術であり、沖縄の歴史・風土に育まれた礼節を重んじ平和と尊ぶ精神性を特徴とし、沖縄の地域社会・人々の生活に密着・浸透し今日まで大切に継承されてきました。

沖縄空手は、道場における師弟関係や「型」を中心とする徹底した自己鍛錬を通して、他者への思いやりの心を育み、年齢や性別、障害の有無、更には、人種、国籍、言語、宗教、思想信条等に関係なく誰でも学ぶことができることから、持続可能な社会の構築に貢献しています。

また、大会やセミナーの開催等を通じて、県外や海外を含めた様々なレベルのコミュニティ間の交流促進やネットワーク形成に寄与しています。

主な流派

しょうりん流系
【小林流、松林流、少林寺流、一心流、少林流等】

剛柔流

沖縄空手の本質
共通する中心的な価値

上地流

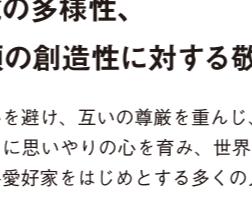
古武術

該当分野



沖縄の歴史・風土に育まれた平和を希求する精神性を顕現・象徴する護身のための武術

人々に伝統とアイデンティティを再認識させ、地域の絆・連帯を強める役割を果たしている



～沖縄空手の特徴・ユネスコ無形文化遺産の構成要素～

礼節を重んじ平和を尊ぶ精神性

- ・密接な師弟関係を通した理念の継承や人材育成
- ・生涯に渡る徹底した自己鍛錬による人格陶冶
- ・全て受けから始まる「型」に秘められた精神
- ・「空手に先手なし」等の箴言

地域に根ざし人々の生活と密接に関連

- ・地域に溶け込む指導者と町道場、活発な地域交流
- ・学校教育への導入
- ・地域行事や祭礼行事等における演武
- ・（綱引き、ハーリー、エイサー、披露宴、葬送儀式等）

ウチナーグチによる独特な用語・表現、空手家にまつわる逸話、
人体や武具製造に関する知識等の伝承

登録によって期待される効果

ユネスコ無形文化遺産登録は、沖縄が世界に誇る伝統文化である沖縄空手の価値を県民が再認識する契機となるとともに、国内外における認知度向上に繋がることから、その将来にわたる保存・継承と普及・啓発に寄与するのみならず、沖縄空手を通じた交流の拡大により、地域社会の発展や世界の平和文化創造に貢献するものです。



ユネスコ無形文化遺産とは

01

・「無形文化遺産」とは、芸能や伝統工芸技術などの形のない文化であって、土地の歴史や生活風習などと密接に関わっているもののこと。

・ユネスコの「無形文化遺産保護条約」では、この無形文化遺産を保護し、相互に尊重する機運を高めるため、登録制度を実施。

※出典：農林水産省「和食」ユネスコ無形文化遺産登録より

02

ユネスコ無形文化財保護条約より

「ユネスコ無形文化遺産とは社会や集団、あるいは個人が自らの文化的伝統として認める慣習や表現、知識、技能のことで、具体的には口伝えの伝承や表現、伝統芸能、儀礼、祭事、伝統的な知識や慣習、伝統工芸技術などを含みます。」

「それらが世代から世代へと引き継がれ、絶え間なく再現されることで、その担い手たちの社会ではアイデンティティや歴史的繋がりが確認できるもの」

※出典：独立行政法人国立文化財機構(IRI)



Committee for the Okinawa Karate UNESCO Listing

沖縄空手ユネスコ登録推進協議会

沖縄空手ユネスコ登録推進協議会は、沖縄空手の精緻な技と平和を希求する精神性を次世代に正しく保存・継承するとともに、「空手発祥の地・沖縄」を国内外に広く発信することを目的として、令和2年8月に発足しました。

早期の登録実現に向け、幅広い分野の関係者の参画を得て、県民や空手関係者等の気運醸成を図るため、協議会の「総会」は、沖縄県知事を会長に、沖縄県内の空手関係団体、県議会や市町村、教育、文化・学術、経済・観光、メディアなど、38の機関・団体に所属する41名の委員で構成されています。

また、協議会には、沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に必要な調査・研究を行うための部会として、空手関係者、学識経験者・有識者、行政関係者ら11名で構成する「検討委員会」に加え、首里・泊手系、那覇手系、上地流系、古武道の関係者による4つの「流派研究連絡会」を設置しています。

総会

会長	県知事	委員	国・県・市町村関係 6名	経済・観光関係 13名	
副会長	県議会議長		教育関係 2名	メディア関係 8名	
			空手関係 2名	文化・学術関係 8名	計41名

検討委員会

委員長	学職経験者・有識者	
副委員長	県空手振興課長	
委員	県文化財課長	空手関係 2名
	流派研究連絡会の部会長 4名	学職経験者・有識者 2名

計11名

流派研究連絡会

首里・泊手系

流派の空手関係者 7名

那覇手系

流派の空手関係者 5名

上地流系

流派の空手関係者 5名

古武道

流派の空手関係者 5名

MEMBERS

会議及び委員

総会

会長	沖縄県	知事	沖縄県文化協会	会長	(一財)沖縄観光コンベンションビューロー	会長	
副会長	沖縄県	県議会議長	沖縄文化協会	会長	(一財)沖縄美ら島財団	理事長	
		沖縄の空手・古武術保存会	会長	沖縄県博物館協会	会長	(一社)日本旅行業協会沖縄支部	支部長
		沖縄伝統空手道振興会	理事長	沖縄県地域史協議会	代表	(一社)全国旅行業協会沖縄県支部	支部長
委員	沖縄県	文化観光スポーツ部長	琉球沖縄歴史学会	会長	(株)守礼堂	会長	
	沖縄県	教育長	沖縄民俗学会	会長	NHK 沖縄放送局	局長	
	沖縄県	政策参与	沖縄県商工会議所連合会	会長	琉球放送(株)	代表取締役社長	
	内閣府沖縄総合事務局	運輸部長	(公社)沖縄県工業連合会	会長	沖縄テレビ放送(株)	代表取締役社長	
	沖縄県市長会	会長	沖縄県商工会連合会	会長	琉球朝日放送(株)	代表取締役社長	
	沖縄県町村会	会長	(一社)沖縄県經營者協会	会長	(株)琉球新報社	代表取締役社長	
	沖縄県市町村教育委員会連合会	会長	沖縄経済同友会	代表幹事	(株)沖縄タイムス社	代表取締役社長	
	(一社)大学コンソーシアム沖縄	代表理事	沖縄県中小企業家同友会	代表理事	(株)ラジオ沖縄	代表取締役社長	
	沖縄県ユネスコ協会	会長	沖縄県中小企業団体中央会	会長	(株)エフエム沖縄	代表取締役社長	
	(公財)沖縄県文化振興会	理事長	(公社)日本青年会議所沖縄地区協議会	運営専務			

検討委員会

流派研究連絡会

委員長	沖縄県立芸術大学	元学長	宮城篤正	首里・泊手系	那覇手系
副委員長	沖縄県文化観光スポーツ部空手振興課	課長	佐和田勇人	部会長 国際沖縄少林流聖武館空手道協会	会長 島袋善保 部会長 国際沖縄剛柔流空手道連盟 最高師範 東恩納盛男
委員	沖縄県教育庁文化財課	課長	諸見友重	委員 沖縄空手少林寺流空手道洗心館	会長 佐久川政信 委員 沖縄空手道剛柔会 会長 平良貞行
	沖縄の空手・古武術保存会	事務局長	東恩納盛男	沖縄小林流空手道協会	会長 宮城驍 沖縄剛柔流空手道協会 会長 照屋幸栄
	沖縄伝統空手道振興会	事務局長	池宮城政明	世界松林流空手道連盟	会長 平良慶孝 沖縄剛柔流空手道総本部順道館 館長 宮里善博
	国際沖縄少林流聖武館空手道協会	会長	島袋善保	沖縄小林流空手道空手道館連合会	会長 比嘉稔 国際明武館剛柔流空手道連盟総本部 名誉会長 八木明達
	国際沖縄剛柔流空手道連盟	最高師範	東恩納盛男(兼務)	沖縄空手道小林流小林館協会	会長 仲里稔
	上地流空手道守礼会	会長	島袋常雄	一心流國際空手道連盟	会長 島袋吉郎
	沖縄伝統古武道保存会	会長	仲本政博		
	沖縄県立博物館・美術館	館長	田名真之	上地流系	古武道
	琉球大学・沖縄大学	非常勤講師	嘉手苅徹	部会長 上地流空手道守礼会	会長 仲本政博 部会長 沖縄伝統古武道保存会 会長 沖縄伝統古武道保存会 副会長 沢岐政輝
				委員 上地流空手道協会	会長 上地完尚 委員 (一社)全沖縄古武道連盟 副会長 沢岐政輝
				上地流空手道拳優会	会長 新城清秀 琉球古武道保存会 会長 金城政和
				沖縄空手道上地流修徳館協会	会長 高江靖 沖縄空手・古武道小林流礼邦館協会 会長 阿波根直信
				沖縄県空手道協会	会長 桃原慶長 琉球古武道哲心館協会 会長 玉寄英美